



**建築資材と
プランニングで
省エネ性を高める**

快適で長持ちする家を作るために、意識しておきたい条件のひとつが省エネ性。「家を建てた後に省エネ性を高めるのは比較的難しいので、はじめにしっかりとプランニングしておくといですね。」と杉浦さん。

「冬は暖かく夏は涼しいといった快適さだけでなく、ランニングコストを抑えられるのも省エネ住宅の良いところ。断熱材や太陽光発電の使用はもちろんですが、窓の大きさや位置によって上手に光や風を取り入れることも大切です。窓のとり方ひとつで室内の気持ちよさが全く違ってきますから、間取りのプランニングも併せて環境を整えることで、省エネ性と快適さのどちらも手に入れることができます。」

**【フラット35】Sで
理想の家づくりを
実現してほしい**

省エネ性の他にもメンテナンスフリーの資材を使用するなど、その後の暮らしにも配慮するという杉浦さん。「家は高い買い物ですから、建築費や住宅ローンなど資金面も提案しています。」

そこでおすすめるのが全期間固定金利の住宅ローン「フラット35S」。「省エネルギー性」、「耐震性」、「バリアフリー性」及び「耐久性・可変性」のうち、いずれか1つ以上の基準を満たせば一定期間金利が引き下がります。長期優良住宅の基準を満たすことで、5〜10年間も金利引き下げが受けられるのです。

「資金計画が立てやすい点でも、長く快適に暮らせる家を手に入れられる点でも「フラット35」Sの住宅ローンは賢い選択だと思います。金利の引下げを資金計画に組み込んで、理想の暮らしを実現してほしいですね。」



ずっと固定金利の安心 【フラット35】S

<p>【フラット35】S (金利Aプラン) 【フラット35】の借入金利から 当初 10年間 年 0.25% 引下げ</p>	or	<p>【フラット35】S (金利Bプラン) 【フラット35】の借入金利から 当初 5年間 年 0.25% 引下げ</p>
--	----	---

ご存知ですか? 【フラット35】S 4つの基準とメリット

<p>省エネルギー性 高い水準の断熱性などを 実現した住宅</p> <p>夏涼しく冬暖かい! 冷暖房費に 差が出ます!</p>	<p>耐震性 強い揺れに対して倒壊、崩壊など しない程度の性能を確保した住宅</p> <p>地震から家族を守る! 地震保険も割引に!</p>	<p>バリアフリー性 高齢者の日常生活を 行いやすとした住宅</p> <p>移動がラクで 先々安心! 老後の工事費も軽減!</p>	<p>耐久性・可変性 長期優良住宅など、耐久性を有し、長期にわたり 良好な状態で使用するための措置を講じた住宅</p> <p>丈夫で長持ち! 将来のメンテナンス 費用も軽減!</p>
--	---	--	--

土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)内では、【フラット35】Sは、ご利用いただけません。2021年10月以後の設計検査申請分より、土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)内で新築住宅を建設または購入する場合、【フラット35】Sがご利用いただけなくなりました。

※レッドゾーン内で新築住宅を建設または購入する場合であっても、【フラット35】Sはご利用いただけます。
※中古住宅を購入する場合は、【フラット35】Sをご利用いただけません。
詳しくは、フラット35サイトでご確認ください。
なお、レッドゾーンに該当する地域の最新の指定状況は、各都道府県のホームページで確認することができます。

国土交通省ホームページ
<https://www.mlit.go.jp/mizukudo/sabo/linksinpou.html>



詳しくは【フラット35】特設サイトへ

フラット35 S 検索

<https://www.flat35.com/lp/19/#>



お電話でのお問合せ
(お客さまコールセンター)

0120-0860-35 通話無料

お気軽にお電話ください。営業時間 9:00~17:00(祝日、年末年始を除き、土日も営業しています)。
ご利用いただけない場合は、Tel 048-615-0420へ(有料)

●【フラット35】は、民間金融機関と住宅金融支援機構が提携して提供する全期間固定金利の住宅ローンです。お申込みは、取扱金融機関となります。●【フラット35】、および【フラット35】Sの利用条件などの詳細は、フラット35サイト(www.flat35.com)をご覧ください。●お客さまコールセンターまでお問合せください。●【フラット35】Sには予算金額があり、予算金額に達する見込みとなった場合は、受付を終了させていただきます。受付終了日は、終了する約3週間前までにフラット35サイトでお知らせします。●取扱金融機関と住宅金融支援機構の審査の結果によっては、お客さまのご希望にそえない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

! 【フラット35】は第三者に賃貸する目的の物件などの投資用物件の取得資金にはご利用いただけません。機構では、申込ご本人またはご親族の方が実際にお住まいになっていることを定期的に確認しています。

広告

**快適で長持ち。
将来も豊かに暮らせる
住まいを設計したい。**

家族が笑顔で、ずっと豊かな暮らしを続けるために。デザインと性能、どちらも大切に建築家の杉浦宏幸さんに、押さえておきたい家づくりのポイントを聞いてみました。



の
ま
い
の
賢
者
た
ち

**建築家
杉浦宏幸さん**

一級建築士。「杉浦事務所」主催。商業施設や住宅の設計を行うかたわら、ICSカレッジオブアーツの非常勤講師を務めるなど多方面で活躍。
<https://www.hsugiuraarchitects.com/>
info@hsugiuraarchitects.com



外壁にメンテナンスの負荷が少ないガルバリウムを使用した杉浦さんのご自宅。「10年以上経った今も、補修はしていません」

**暮らしにフィットした
快適で心地よい
家づくりを提案**

省エネ住宅へのアドバイスなどを行う「省エネ住宅相談員」の資格も持つ、建築家の杉浦宏幸さん。店舗や施設の外、住宅設計も数多く手がけており、住む人が快適で愛着を持って暮らせる家づくりを提案しています。

「良い家の条件は、暮らす人の生活スタイルにフィットして、毎日快適で心地よく過ごせること。それにはデザインだけでなく、日々の掃除が楽だったり、メンテナンスにかかる時間が少なかったり、家を建てた後もずっと快適であり続ける必要があります。長い目で見て、コストをかける箇所と削ってもよい箇所をしっかりと見極めることができれば、満足のいく理想の家が完成すると思います。」